

事務事業名		大船渡市男女共同参画審議会開催事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	07 相互に理解し、尊重し合う地域社会の実現			事業期間		予算科目 会計 款 項 目 事業			
	施策名	31 人権の尊重と男女共同参画社会の構築								
	基本事業名	03 男女共同参画の実践促進								
所 属	根拠法令	大船渡市男女共同参画推進条例			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成14 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入	01	02	01	11	07
	部課名	企画政策部活力推進課								
	係 名	男女共同参画係	電話	27-3111						
			内線	214						

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

・当審議会は、大船渡市男女共同参画推進条例に基づき男女共同参画の推進に関する重要事項の調査審議を目的として設置している。所掌事項は、男女共同参画行動計画に関する事、男女共同参画の推進に関する基本的施策に関する事、その他男女共同参画の推進に関し必要な事項に関する事。例年、年2回開催している。

・具体的に、第1回の審議会で、男女共同参画行動計画に関する前年度の事業実施状況や当該年度の事業計画について審議し、第2回の審議会では、男女共同参画推進施策・事業に関する意見等をいただいている。

・委員数は20名、任期は2年。女性委員の登用率は平成22年4月1日現在で65%である。

・委員構成は、知識経験者、市議会議員、公共的団体等に属する者及び公募委員から成る。

・平成22年度事業費は106,719円、内訳は、審議会委員報酬100,000円(開催1回につき、一人当たり5,000円)費用弁償(交通費)6,719円。

・審議会の会議資料については、男女共同参画室が関係部署へ照会し回答を得て取りまとめた後、男女共同参画室幹事会で協議し作成している。

全体計画(期間限定複数年度のみ)			
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
		都道府県支出金	
		地方債	
		その他	
		一般財源	
		事業費計 (A)	0
人件費	正規職員従事人数		
	延べ業務時間		
	人件費計 (B)	0	
トータルコスト(A)+(B)		0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称 単位
・平成21年度事業実施状況及び平成22年度事業計画について報告し、男女共同参画行動計画の進捗状況を把握するとともに、男女共同参画推進施策について審議した。 ・平成22年度全国男女共同参画宣言都市サミットの総括、来場者アンケートの結果公表及び審議委員から評価いただき、今後の男女共同参画推進施策に反映させる。	ア 審議会開催回数 回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ 審議会延べ出席委員数 人
審議会委員の改選と委嘱状交付。	ウ
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	対象指標(対象の大きさを表す指標)
ア) 男女共同参画審議会委員	名称 単位
イ) 男女共同参画行動計画	カ 審議会委員数 人
	キ 男女共同参画行動計画の事業数 事業
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ク
ア) 男女共同参画推進施策について助言していただき、市の施策に反映する。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
イ) 計画通り進捗する	名称 単位
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	サ 意見、提言の件数 件
男女共同参画の実践促進	シ
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
投入量	事業内訳	単位						
			千円	千円	千円	千円	千円	千円
投入量	事業内訳	国庫支出金						
		都道府県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源		152	160	217	118	138
		事業費計 (A)		152	160	217	118	138
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	1	1
		延べ業務時間	時間	300	300	600	300	300
		人件費計 (B)	千円	1,200	1,200	2,400	1,200	1,200
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,352	1,360	2,617	1,318	1,307
活動指標	ア	回	2	2	3	2	2	2
		人	31	27	46	27	35	27
		ウ						
対象指標	カ	人	20	20	20	20	20	20
		事業				112	112	112
		ク						
成果指標	サ	件	34	12	33	26	32	15
		シ						
		ス						

事務事業ID	0358	事務事業名	大船渡市男女共同参画審議会開催事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
・平成14年2月に制定された大船渡市男女共同参画推進条例の中で、男女共同参画審議会の設置が規定された。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
・昭和59年に「大船渡市婦人懇談会」が設置されて以降、名称を改めながらも市の女性政策について市民から意見を聴く場が設けられてきた。			
・平成14年2月大船渡市男女共同参画推進条例を制定し、これに伴い女性懇談会が廃止され、新たに男女共同参画審議会が設置された。			
・設置当初は女性委員の割合が80%と偏っていたことから、改選に合わせて段階的に格差を縮小するよう努め、平成22年4月1日現在は65%となっている。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
・審議会委員からは、男女共同参画についての研修の場を与えて欲しい、また、委員が意見を出しやすいような雰囲気づくりをして欲しいという意見が出されており、審議会において男女共同参画に関するパンフレットを配布したり、男女共同参画研修修了者の報告や、ファミリー・フレンドリー企業表彰を受けた市内企業の仕事と家庭両立の取り組みの説明、県労働局雇用均等室室長の講話などを行っている。			
・次期行動計画審議の際、(審議会委員が)自己を高めながら計画の進捗を監視していく責任があるとの意見が出された。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 男女共同参画社会に向けた施策は、地域に根ざした効果的な事業を継続して実施する必要があり、そのためには市民の代表者で構成された審議会の開催が必要不可欠である。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 男女共同参画審議会委員に、男女共同参画施策について助言をしてもらうことは、対象、意図いずれも、大船渡市男女共同参画推進条例による審議会の目的を達成するために妥当である。	
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 第2次男女共同参画行動計画策定にあたり、事業執行上の要望が多く出された。今後、当面は、当計画の進捗管理が主たる所掌事項となるが、引き続き活発な議論を引き起こすよう、資料や説明に創意工夫を凝らすことにより、成果の向上を図ることができるものとする。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 他に市の男女共同参画の推進について審議を行う組織がない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 審議会開催の支出は規定された報酬と費用弁償のみ、また開催回数は特別に審議する事項が無い限り年2回であり、男女共同参画推進について意見を聴くためには開催回数は減らすことができない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 審議会委員は市の非常勤特別職であり、市の規定に基づいて一律に報酬を支払っており、公平・公正である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																															
<table><tr><td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	・第1回の審議会では、行動計画の事業実施状況について説明がなされた。審議会委員からは、各種事業が展開されているが、市民生活により即したアンケート調査をしてはどうかとの意見が出された。 ・第2回の審議会では、全国男女共同参画宣言都市サミットの参加者を対象としたアンケート結果を公表した。審議会委員からは、サミット開催による男女共同参画社会への理解普及・機運の醸成につながったとの高評価とともに、男女の不平等感が依然として根強く残っているとの結果から、引き続き男女共同参画施策を推進すべきとの提言があった。																			
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																														
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																														
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																															
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・審議会において、活発な議論を引き起こすよう、資料や説明に創意工夫を凝らすことが必要であり、また、男女共同参画に関する現状と課題を理解するため、男女共同参画関係者(有識者を含む)からの講話等の機会を設けることも必要である。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																												
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																
		コスト																														
		削減	維持	増加																												
成果	向上		●																													
	維持			×																												
	低下		×	×																												
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																																
・委員に、男女共同参画について理解を深めてもらうよう、引き続き男女共同参画研修修了者の報告、男女共同参画に意欲的な市内企業からの説明及び男女共同参画関係機関への講師派遣要請などに取り組む。 ・委員に男女共同参画に関する最新の情報を提供するとともに、国県等の主催事業への参加を促すなど研修の機会を提供する。																																

4 事務事業の2次評価結果

(職名)	原則として施策の主管課長
2次評価者	活力推進課

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

審議会において、活発な議論を引き起こすよう、資料や説明に創意工夫することが重要。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- | | | | | |
|--|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|
| ☐ 廃止 | ☐ 休止 | ☐ 目的再設定 | ☐ 事業統合・連携 | ☐ 現状維持 |
| 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) | | | | |

(上記方向性に対する具体的な内容)

審議会委員の方々に男女共同参画に関する最新の情報を提供するとともに、国県等の主催事業への参加を促すなど研修の機会を提供し、審議会を活発にする。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		●	
	維持			×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項